



編集・発行

十日町情報館・NPO法人らいぶフォーラム
〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1
TEL/025-750-5100 FAX/025-750-5103

「らいぶフォーラム」は、十日町情報館と図書館分室の図書館サービス業務を受託している市民による非営利団体です。2014年2月にNPO法人となりました。



2025 読書週間 10月27日(月) ~11月9日(日)

標語「こころとあたまの、深呼吸」 ※10月27(月)は休館日です

オビのチカラ

～本の帯がもたらす新たな1冊との出会い～

☆川西・松代分室でも同時開催

帯を巻いて本を展示・貸出します。新しいジャンルや作家との出会いを楽しんでみませんか。

日時/10月10日(金)～11月9日(日)

場所/情報館2階新着コーナー前
川西分室・松代分室

オビのコメント見て
借りたら面白い♪



【上映会】

「峠 最後のサムライ」

幕末の風雲児、長岡藩河井継之助を描く

原作:司馬遼太郎「峠」(新潮社) 監督:小泉堯史

出演:役所広司、松たか子、田中泯ほか



日時/11月9日(日)

午前の部 10時～12時(開場9時30分)

午後の部 2時～4時(開場1時30分)

入場料/無料

定員/各回先着50人

会場/情報館1階視聴覚ホール

申込み/チラシの申込用紙に記入して

お持ちください。電話・FAXでもOKです。

関連資料の展示・貸出も行います。

閉架書庫を公開します

いつもは入ることができない閉架書庫(へいかしょこ)を公開します。ご希望の方は、当日1階カウンターでお申し込みください。

日時/10月19日(日)

午後2時～5時(4時30分最終受付)

【今後の公開予定】3月15日(日)

山下多恵子文学講座Ⅶ

「読む」ことの楽しさ、「想う」ことの喜びー芝木好子の世界

芥川賞作家の芝木好子は、昭和という激動の時代をひたむきに生きる女性たちの姿を、愛情と共感を込めて描きました。作品の中の女性たちの境遇は様々ですが、「何か」に一途に情熱を傾けているということが共通しています。いくつもの男女の愛のかたちや感情の機微も、みずみずしい筆致で綴りました。作品も引用しながら、芝木文学の魅力に迫ります。

日時/10月25日(土) 午後1時30分～3時

会場/情報館1階視聴覚ホール

対象/中学生以上

定員/先着50人(要事前申込み)

講師/山下多恵子さん(国際啄木学会理事)

この夏読んだ、この1冊2025 みんなの読書感想画展示

多くの市内小中学校の生徒さん、館内で描いてくれた皆さんの力作を是非ご覧ください！

☆1Fスロープにて11月23日(日)まで展示中



十日町情報館

開館時間 午前9時～午後7時

休館日 第2・第4月曜日、特別整理期間、
年末年始(12/29～1/3)

各分室の開館カレンダーは、十日町情報館「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。



ホームページ

資料の検索・
利用案内



Instagram

イベント
などのご案内

【令和7年度 情報館主催 パソコン講習】 パワーポイント

プレゼンテーション資料の作成を基礎から学びます

日 時／10月9日(木)、14日(火)、16日(木)
(全3回)

午後7時～9時

対 象／文字入力・マウス操作ができる人

受講料／4,000円(テキスト代込み)

定 員／先着11人

会 場／情報館1階 コンピュータ研修室

申込み／チラシの申込用紙に記入して

お持ちください。電話・FAXでもOKです。



10月のおはなし会

◆情報館

4日(土)／おはなしびよびよ(乳幼児)

11日(土)／おはなしびよびよ(乳幼児)

18日(土)／読み聞かせの会 どんぐり

(幼児～小学校低学年)

25日(土)／おはなし「たまてばこ」

(乳幼児)



◆川西分室

18日(土)／おはなしの会「ふきのとう」

(乳幼児～小学校3年生くらい)

◆松代分室

11日(土)／おはなしたんぽぽ(幼児～小学校低学年)



本のちから(19)

子ども読書活動推進コーディネーター
林 篤子

秋の夜長に、読書はいかがでしょうか。

安房直子 十七の物語『夢の果て』の中から『星のおはじき』を紹介します。先日、小学校6年生に読み聞かせをしたお話です。

同じクラスのあやちゃんが学校にもってきた、美しい星のおはじきを見たくて、女の子もみんなと同じようにさわろうとします。でも、あやちゃんに、「さわらないで!あなたがさわるとよごれるわ」と言われます。静まり返り、凍りついた空気と女の子の心。どうしても見たかった女の子は、誰もいない時に、ちょっと見せてもらうつもりでおはじきを3つ手に取り、そのままポケットに入れて持ち帰ってしまいます。あやちゃんは気づいていません。

友だちも両親もいない女の子は、おはじきを返さなくてはいけないと思いながら、なかなか返すことができずに葛藤し途方に暮れ、窓から見える柳の木に、心の内を相談します。柳の木は、お母さんのように女の子の心を優しく受け止め、包んでくれるのでした。女の子は柳の木の声に従い、柳の木の根もとに、おはじきと自分の心を埋めました。

結果的におはじきを返すことができなかったのも、学校での読み聞かせにはどうかと言うお声もあり、長年封印していたお話でした。けれど、「このお話を聞いて、人のものを盗っても返さなくていいのだと思う人は、いないのではないかな?むしろ、なぜそうしてしまったかを考えることこそが大切なのではないかな?」と、悩んだ末の選書でした。子どもたちは真剣に聴いて受け止めていました。「女の子の心情がとても良く伝わってきた。深いお話だった。」「考えさせられた。」など、子どもたちの感想を聞き、改めて読んで良かったと思えました。

このお話は、日常に潜んでいる何気ないいじめや差別、それを受けた子どもの心の動きについて私たちに優しく語りかけます。単純な善悪では分けられない、生きていく上で乗り越えていかなければならない様々な経験と葛藤、柳の木のような拠り所の存在の大切さなど、思いを巡らせ、考える機会になればとの思いを込めて。

10月のテーマ図書

●一般向け

◇からだいきいき◇食欲の秋◇朝ドラ「ばけげん」

●児童向け

◇たのしいあき◇ひろいうちゅうになにがある?



10月19日(日)は

家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。

